

令和 5 年 4 月

健診受診者並びに健診担当者 様

一般財団法人 北陸予防医学協会
管理医師 山上孝司

インスリンポンプおよび持続グルコースモニタ測定器を装着の方へのお願い
並びに胃バリウム検査における水分摂取と服薬について

日頃から大変お世話になっております。

さて昨今、診療報酬改定の影響もあり、インスリンポンプおよび持続グルコースモニタ測定器（持続血糖モニター）装着者が増加しております。

インスリンポンプおよび持続グルコースモニタ測定器（持続血糖モニター）の両機器は、放射線や MRI の磁気の影響により当該測定器に機能障害・誤作動が生じる危険性がありますので、放射線検査（胸部 X 線、胃部 X 線、CT、マンモグラフィ、骨密度測定）及び MRI 検査を実施する際には取り外していただく必要があります。

機器の中には医療者による取り外しが必要な機器がありますが、当協会では医療者による取り外しは行っておりません。健康診断の受診日等は主治医とご相談の上、決めていただくようお願いいたします。

次に、胃のバリウム検査における水分の摂取と服薬についてのお願いです。健診受診票の裏面に水分摂取と服薬についての記載があるのですが、脱水を予防するために、健診 2 時間前までにコップ 1 杯程度の水分を取って下さい。服薬を止めてはいけない方、特に血圧を下げる薬を飲んでいる方は、必ず水とともに服薬して下さい。当日血圧が高い状態ではバリウム検査はできません。

以上になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。